

大阪市中央区備後町3丁目6番2号 KFセンタービルディング
Tel.06-7506-9620 (代表)
Fax.06-6264-8520

URL <http://www.nnets.co.jp>



主な事業所

◎本社 ●主な製造拠点 ●主な営業拠点

播磨工場

兵庫県高砂市米田町米田新
字外新田287番地7

佐野工場

大阪府泉佐野市松原
3丁目4番38号

九州本部

福岡県北九州市八幡西区
浅川942番地203

本社

大阪市中央区備後町3丁目6番2号
KFセンタービルディング

滋賀工場

滋賀県湖南市石部口2丁目
6番1号

東日本本部

千葉県浦安市美浜1丁目9番2号
浦安ブライTONビル2F

会社案内

都市づくりをトータルサポート



社章の由来

Nihon Network Supportの頭文字「N」と、当社が製造している断面が丸い形の商品（ボール・地中管・がいしなど）のイメージを組み合わせたものです。また、当社は2005年10月1日に、株式会社日本アーム、近畿コンクリート工業株式会社、大ト一株式会社が合併し発足しましたが、3社のNihonの「N」、Concreteの「C」、Daitoの「D」をつないだものでもあります。当社は、保有する様々な技術、ノウハウなどを自由に組み合わせ、新しい商品を創り上げてまいります。

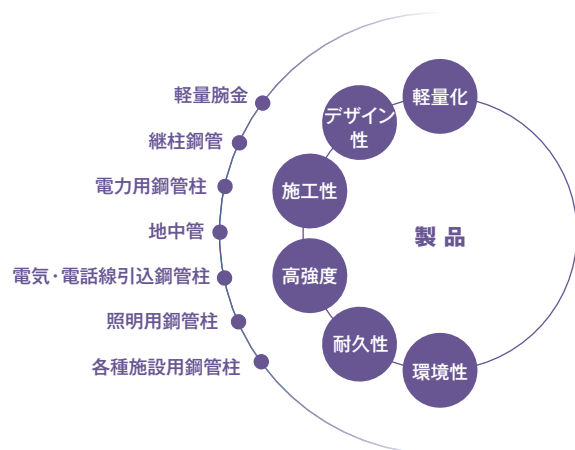
確かな技術と優れた製品で、 お客さまのあらゆるニーズにお応えします。

日本ネットワークサポートは、関西電力グループの一員として、
電力流通インフラ製品の製造を通して、電力の安定供給をはじめ、
通信ネットワークの構築、鉄道の輸送安全など、都市基盤の整備に寄与し、
豊かな生活環境の実現に貢献してきました。
また、これからは、安全性、高品質、高付加価値にこだわる「ものづくり」、
固有の技術・技能の継承による「ひとづくり」、お客さまや協力会社、
そして社会との深いコミュニケーションによる「つながりづくり」を進め、
お客さまニーズを先取りした製品づくりを目指していきます。



自動制御による高精度な加工技術で、暮らしに溶け込む

金属加工製品



電線を支える軽量腕金の製造から始まった当社金属加工部門では、お客さまのニーズにマッチしたものづくりを追求するとともに、地域環境に調和する製品開発に取り組んでいます。

軽量で、運搬・施工に優れた「鋼管柱」は、コンクリートポールとの組み合わせや、防災無線用ポールあるいは防球ネット用支柱などに用途が拡大しており、電力会社の配電設備や公共インフラ設備を支えています。また、長年培ってきた技術と美しい外観をいかして景観にマッチした製品づくりにも取り組んでいます。

〔軽量腕金〕



柱上で電線・ケーブルを支持する「軽量腕金」

〔鋼管柱〕



細径、軽量で運搬施工に優れた「組立鋼管柱」

〔共用柱〕



電線共同溝で使用されるケーブル内蔵「共用柱」

〔NAポール〕



多目的柱として活躍する「NAポール」

〔管路橋〕



美しい曲線で地中化区域の河川を横断する「管路橋」

冷間鍛造で最大直径36cmの鋼管の加工が可能

日本に1台しかない当社独自の大型冷間鍛造機から生み出される「組立鋼管柱」は、接合方法にスリップジョイント方式の採用で、現場での作業性に優れ、コスト低減にもつながります。



製品情報の詳細は
WEBサイトもご覧ください



サプライチェーン全体で、品質向上を追求

「高品質な製品でお客さまに満足と安心をお届けする」をモットーに、製品異常の撲滅に取り組んでいます。社内の品質検査業務の精度向上に加え、外部の協力会社とも連携して品質向上に努めています。



製造フロー

- 1 スリットコイル(材料)
- 2 コイル継ぎ溶接
- 3 各ロールで徐々に角形・丸形に成形
- 4 高周波溶接・ビート切削
- 5 形状・曲がり矯正ロール
- 6 定尺に切断・面取り
- 7 段積・結束
- 8 二次加工・検査
- 9 めっき・塗装
- 10 製品検査・出荷



Focus

山間部や狭い路地などで活躍する「組立鋼管柱」

山間部や狭い路地など、コンクリートポールの運搬が困難な場所や建柱面積の狭い場所で使用できる「組立鋼管柱」を開発しました。

形状、強度、重量等、多様なニーズに合わせた製品ラインアップを取り揃え、電力会社や通信会社、自治体などでご活用いただいています。



主要工場 滋賀工場

- 所在地：滋賀県湖南市
- 敷地面積：64,790m²
- 延床面積：27,123m²
- 認証：新JIS / 2008



**お客さまニーズに合わせた
さまざまな仕様のものづくりに対応**

2本継ボール、ロングボールや、着色ボールならびに表面を松や杉の木に似せた擬木ボールなど、様々な仕様の製品を揃え、お客さまのニーズに柔軟に対応します。



[ボール]



街中やグラウンドなどで幅広く使用される「各種ボール」



[ブロック]



地上機器設置用地中送配電に使用される「ハンドホール」や「マンホール」

[パイル]

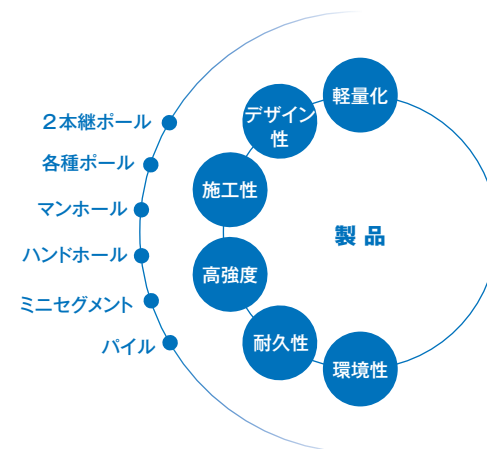


建設基礎工事に使用される「パイル」

CONCRETE PRODUCTS

現場のニーズに応える、独創的な

コンクリート製品



コンクリート部門では、長年培ってきたコンクリートに関する知見や技能・技術の集積を活用し、お客さまのニーズに対応した独創的な製品を開発・製造しています。

主力製品の一つである「コンクリートボール」は、関西電力の供給エリアだけでも、約260万本が設置されており、都市基盤の整備に寄与しています。

また、生産面では品質管理のノウハウで高品質な製品を生み出すとともに、一定の在庫を保有することで、お客さまの急なご要望にもお応えできるようにしています。



製品情報の詳細は
WEBサイトもご覧ください

Focus 作業性や安全性に優れた「2本継ボール」



関西電力(株)ご提供

狭い住宅街などで電柱の新設や交換を行う際に便利な「2本継ボール」を開発しました。

従来の1本構造から、上下2本で1セットとすることで、運送コストが低減するとともに、トラックなどが入れない狭い設置現場でも運搬・組み立てがしやすくなり、工事の作業性や安全性が向上しました。



厳格な基準を満たす 品質管理で安心・安全を

暮らしの身近に施設されるボールには強度と耐久性が必要です。当社では製品検査資格を取得した社員によって製造工程と出荷工程の2回、品質検査を実施しています。



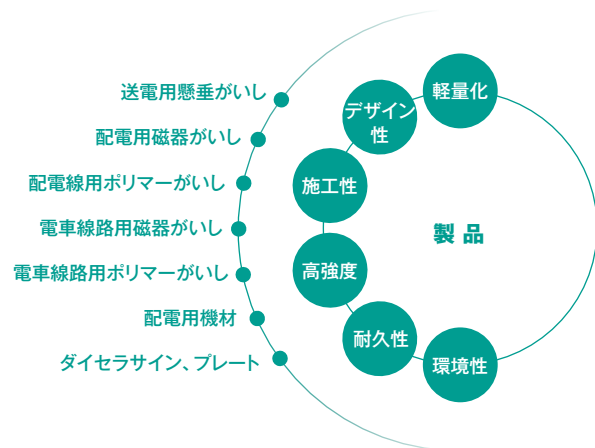
主要工場 播磨工場

- 所在地：兵庫県高砂市
- 敷地面積：78,988m²
- 延床面積：18,710m²
- 認証：新JIS / 2007

製造フロー

- 1 材料受入検査
- 2 鉄筋編成
- 3 型枠整備
- 4 鉄筋緊張
- 5 コンクリート注入
- 6 遠心力成形
- 7 蒸気養生
- 8 製品脱型・仕上げ
- 9 検査
- 10 出荷

幅広い分野で活躍する、人と自然環境に優しい がし製品



がし部門は1920年の創業以来、約100年以上の歴史と国内トップレベルの技術力を誇ります。当社の製品は電力の安定供給のみならず、東海道新幹線の架線にも開業当時から採用され、輸送安全に貢献しています。

主力製品は送電鉄塔などに用いられる磁器がいしですが、近年は、軽量かつ耐衝撃性能と耐汚損性能に優れるポリマーがいしなども製造しており、電力、鉄道など多用途で使用されています。さらに、ダイセラサインなど多岐にわたる製品開発にも取り組んでいます。

【送配電用がいし】



電力の安定供給を支える「送配電用がいし」

【電車線路用がいし】



鉄道の輸送安全を支える「電車線路用がいし」

【ダイセラサイン】



多彩なデザインが可能な「ダイセラサイン」

各種工程の自動化を進め、生産効率を向上

1個約10kgのがしを移動する工程にロボット装置を導入しました。生産性の向上だけでなく、安全性も向上しました。



製品情報の詳細は
WEBサイトもご覧ください

Focus

お客さまの声から生まれた「ワンタッチ式落線防止機材」

電線の落線防止機材をより簡単に取り付けできる「ワンタッチ式落線防止機材」を開発しました。

間接工法で素早く取り付け可能なため、工事費の低減にもつながり、月間約6万セットを販売しています。



全国の電力会社に認められたがしの品質

送電線に使用される330kN懸垂がいしは、品質第一を基本に製品の安全・安定的な供給に努めてきた結果、全国の電力会社の形式承認を取得することができました。

製造フロー

- 1 主原料粉碎・調合
- 2 ろ過脱水
- 3 真空土練・押出
- 4 成形
- 5 乾燥
- 6 施釉
- 7 焼成
- 8 組立
- 9 検査
- 10 出荷



主要工場 佐野工場

- 所在地：大阪府泉佐野市
- 敷地面積：54,429m²
- 延床面積：37,150m²

品質管理

高い品質と信頼性を、徹底して追求しています。

社会インフラ設備として使用される当社製品——そこには高い品質と信頼性が求められます。当社は高品質な製品を安定して供給できるよう徹底した品質管理を行っています。



品質方針

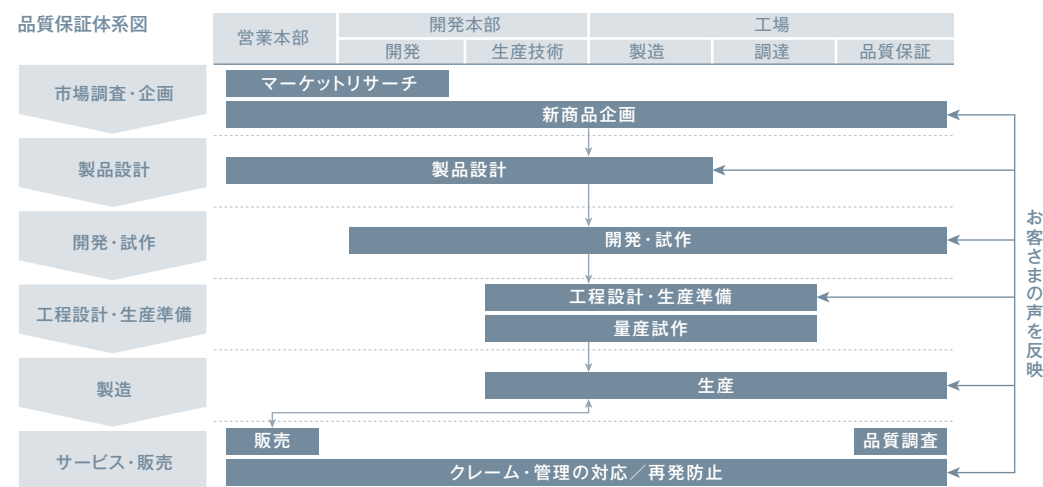
社会のニーズを先取りし、高品質な製品で、お客さまに満足と安心をお届けする。

品質保証体制

事業活動のすべてのプロセスで品質を保証します。

当社では、品質保証とは“お客さまが安心して満足して買うことができ、それを使用して安心感、満足感を持ち、しかも長く使用できるという品質を保証すること”

とし、市場調査・企画から製造、サービス・販売に至るまでの事業活動のすべてのプロセスが対象であると考えています。



研究開発

新技術の確立と生産効率の向上を目指します。

長年培ってきた技術とノウハウをブラッシュアップし、一層の競争力強化と生産効率向上を図ります。



開発の基本的な考え方

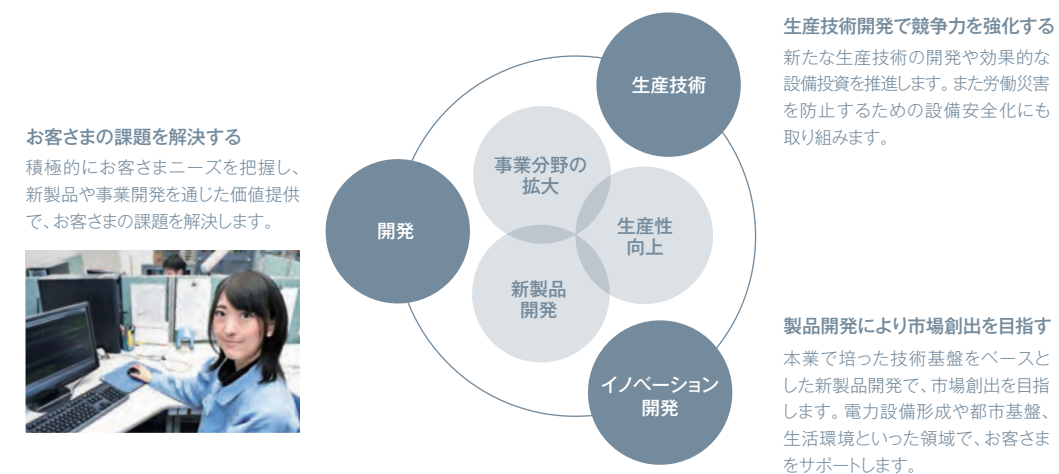
電力流通インフラ製品の製造を通して培ってきた技術力をいかし、豊かな生活環境づくりに貢献できる製品を開発する。

研究開発体制

事業を横断した体制で、未来を見据えた開発を積極化しています。

金属加工、コンクリート、がいし、それぞれの部門が持つ開発機能はそのままに、三事業を横断した開発テーマを推進する開発本部を新設。新製品の開発を

中心に、ものづくりの高度化を目指す生産技術の開発、新市場創出に挑戦するイノベーションの開発を行っています。



お客さまとともに

品質の維持・向上を通じた お客さま満足度の向上

内部監査や取引先への品質調査の実施により、品質の維持・向上に努めています。さらに主要な協力会社との緊密なコミュニケーションを通して品質意識の向上を進め、サプライチェーン全体で製品異常や苦情の撲滅を目指しています。

こうした取り組みを中心に、定期的にお客さま満足度調査を実施しています。お客さまからの評価は全社で共有し、お客さま満足度の向上に努めています。

環境とともに

より良き環境の創造を目指した 積極的な取り組み

毎年6月の環境月間には地域清掃やe-ラーニングを行っています。また、省エネ、グリーン購入、3R活動などに取り組み、環境負荷低減に努めています。



事業所周辺の清掃活動

地域社会とともに

地域社会との共存共栄を目指した ボランティア活動を実施

工場では周辺の学校等からのインターンシップや工場見学なども受け入れるなど、地域社会との共存共栄を目指しています。



地元高校生の工場見学

従業員とともに

「人権尊重」の取り組みと 働きやすい職場づくり

従業員が心身ともに健康で働けるよう、長時間労働の抑制と健康保持に取り組んでいます。また、人権教育や経営者と従業員の対話を通じて働きやすい職場づくりを進めています。



人権研修

透明性の高い開かれた事業活動

迅速な情報公開

事業活動にお客さまをはじめとした社会の声を反映させるとともに、適時的確な情報公開・発信や、社会の皆さまとのコミュニケーションの一層の推進に努めています。特に、お客さま等への報告事象が発生した場合には、迅速な原因の究明と情報公開を行うこととしています。

こうした取り組みを通して事業運営における公正さを確保し、透明性の高い開かれた事業活動を行います。

コンプライアンスの徹底

経営の基盤としてコンプライアンスを 実践・徹底

事業活動のあらゆる局面において、法令、社内ルール、企業倫理などを遵守し、コンプライアンスを経営の基盤として実践・徹底しています。また、これらを保証するための仕組みを構築し、その維持・改善を図っています。コンプライアンス意識の向上を目指した各種研修会、職場討議のほか、内部統制強化のための業務監査を適宜実施しています。また、情報セキュリティの観点から定期的な注意喚起を行っています。

社会との“つながりづくり”を 大切にし、責任を果たします。

当社の事業活動は、お客さまや地域の皆さま、共にものづくりにはげむ協力会社の皆さま、そして従業員の一人ひとりの力で支えられています。

こうした皆さまとの深いコミュニケーションに基づく“つながりづくり”を大切にするとともに、関西電力グループの一員として、CSR行動原則に基づき、すべての事業活動を展開し、企業としての社会的責任を全うしていきます。

人材育成の取り組み

高品質な製品と信頼を生むためのものづくり意識を持った人材育成
会社全体の方向性を理解・考慮し、自らの役割を全うすることが品質
向上やコスト削減につながります。当社では、風通しの良い職場を
ベースに、一人ひとりが自らの役割をしっかりと認識し、自ら考え、自ら
行動できるよう、そして、高品質な製品と信頼を生むためのものづくり
意識を持った人材育成を目指しています。



技能伝承のために

先人の挑戦心と技術ノウハウを継承するための仕組みを改善
生産現場では、当社が誇るベテラン人材の技術ノウハウを次世代に
継承していくため、これまで工場ごとに実施してきたOJTを工場の
垣根をこえて継続的に行われるような仕組みに変更しました。また、
当社を取り巻く環境の変化に柔軟に対応できる人材の育成を図る
ため、生産管理技術の知識、役割意識、問題意識を、従来の上司の
指導や本人の自己啓発の範疇での実施から、より体系的に付与できる
ように人材育成の体制を改善しました。



会社概要

社名
株式会社日本ネットワークサポート

創設年月日 2005年10月1日

資本金 4億1,225万円

本社所在地
大阪府中央区備後町3丁目6番2号
(KFセンタービルディング)

主な事業所
東日本本部：千葉県浦安市美浜1丁目9番2号
(浦安プライトンビル2F)

九州本部：福岡県北九州市八幡西区浅川
942番地203

滋賀工場：滋賀県湖南市石部口2丁目6番
1号

播磨工場：兵庫県高砂市米田町米田新
字外新田287番地7

佐野工場：大阪府泉佐野市松原3丁目4番
38号

沿革

1920年2月
ベンチャーとして起業されたがいの総合メー
カー「大阪陶業(株)(後の大トー(株))」を設立

1955年10月
コンクリートボールの製造から出発したコンク
リート製品のメーカー「近畿コンクリート工業
(株)」を設立

1956年7月
軽量腕金の製造から出発した鋼板加工のメー
カー「日本アーム工業(株)(後の(株)日本アーム)」
を設立

2005年10月
(株)日本アーム、近畿コンクリート工業(株)、大トー
(株)を統合し、電力流通インフラ製品の総合
メーカー「(株)日本ネットワークサポート」を設立
(現在に至る)

事業許可

建設業
大阪府知事許可(特-27)第125277号

一級建築士事務所
大阪府知事登録(ハ)第21519号

ISO 9001 審査登録

登録番号 JQA-0670

登録日 1994.11.11

登録範囲 下記製品の設計・開発及び製造

【金属製品関係】 地中ケーブル保護鋼管(C・
C・BOX用)、一般鋼管柱(NAポールSH、
全閉型ポール、セパレートポール、タウンポー
ル)、組立鋼管柱及び軽量組立鋼管柱

【コンクリート製品関係】 コンクリートボール

【がいし製品関係】 送電線用がいし、配電線用
がいし、電車線用がいし、通信線用がいし、
変電用がいし及び電気機器用がいし

私たちは“ひとづくり”を
続けていきます。

